

## 超並列型スーパーコンピューター SR2201 サービス終了のお知らせ

新スーパーコンピューター (SR8000/MPP) の導入に伴い、2001 年 2 月 28 日をもって超並列型スーパーコンピューター (SR2201) のサービスを終了致します。サービス終了に関して以下の注意事項を御覧下さい。

- newuser 手続きによる新規登録、ファイル使用量上限値の変更、プロセッサ数の変更は 2 月 24 日までとしますので御了承下さい。(2 月 1 日 ~ 2 月 24 日のファイル使用量上限値、プロセッサ数の変更は増加のみ可能です。)
- サービス終了後はジョブの実行、ログインともできません。(ホスト名 scalar-mpp.cc.u-tokyo.ac.jp への接続ができなくなります。) 終了時刻につきましてはログインメッセージを御覧下さい。なお、1024PE 運転によるサービスは 2 月 2 日 19:00 ~ 2 月 5 日 8:30 (予定) が最終となります。
- SR2201 でご使用のプログラムを SR8000/MPP で実行するための移行方法をスーパーコンピューティングニュース Vol.2 No.6(2000.11) 「SR2201 から SR8000/MPP への移行上の注意事項」にて紹介していますので御覧下さい。なお、SR8000/MPP に関してはスーパーコンピューティングニュース Vol.2 No.6(2000.11) 「次期スーパーコンピューターシステム SR8000/MPP の特長」、本誌別記事「新スーパーコンピューターシステム SR8000/MPP 試験運用開始のお知らせ」を御覧下さい。
- SR2201 の利用者ファイルのうち /home ディレクトリーはサービス終了後も利用者自身により SR8000/MPP へ移行できるよう一定期間のファイル移行措置を予定しております。ただし、ファイルの保存を保証するものではありませんので必要なファイルは各自サービス終了前にバックアップをとって置かれますようお願い致します。なお、/home 以外の /short、/para-io 等に置かれているファイルにつきましてはサービス終了の際に全て削除致しますので御了承下さい。
- 一般的非経験分子軌道計算プログラム Gaussian94 のサービスを終了します。なお、SR8000/MPP では Gaussian98 のサービスを予定しています。(Gaussian98 は並列化版ではなく逐次版です。)
- SR2201 向けオブジェクトファイルを生成するクロスコンパイラ (newuser 登録におけるホスト名 cross-compiler.cc.u-tokyo.ac.jp、m-unix 上でのコマンドは xtarget, xf77, xcc) のサービスを終了します。

(システム運用掛)